

1・本園の教育目標

幼児一人ひとりの可能性を広げるために、幼児の主体的な遊びを十分に確保し、自発的に遊べる保育環境の中で、友だちどうしのかかわりを大切にした教育を目標としている。また「食育」として、食べることは生きていく上での最も大切なことと位置づけ、様々な取り組みをしています。幼児期にふさわしい生活が展開されるように、教師との信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友だちと十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

2・本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・体力作りを行い園児の基礎体力の向上を図る。
- ・コロナ過においての子どもたちの育ちについて話し合い保育内容を検討し進めていく。

3・評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況と今後の課題
保育の計画性について	制限のある中、保育内容について検討し柔軟に変化させ対応していくことができた
保育のあり方、 幼児への対応について	コロナ過での感染対策や園児の安全管理の徹底を行い安心した中で園生活を楽しめるようにしてきた。
保護者への対応について	保護者の思いを受け止めることを大切にし、丁寧な対応を行うことで安心して園児を送り出してもらえるようにしてきた。
開かれた幼稚園づくり について	感染対策を行い人数や日程調整を行い園庭開放や園見学などを実施してきた。
研修と研究について	集まるのが難しい中、研修内容の共有をどのように進めていくのか検討してきたので次年度に向けて繋がるように検討し進めていきたい。

4・学校評価の具体的な目標や計画の総合的な結果評価

コロナ過の中、様々な制限がある中ではあったが、出来ることを常に模索し日々の保育や行事について取り組むようにしてきた。

5・学校関係者評価

保護者の方々にも、制限のある中で様々な形での取り組みを理解していただきながら参加していただくことができた。

